

平成 30 年 4 月 23 日

## 4 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木県では 4 月も今のところ出材は順調で、入荷量は平年を上回っている。製材工場の原木不足は解消された模様。製材品需要も全国的に一服感が続き、原木の引合いは全般に落ち着いている。スギ材、ヒノキ材とも好調な売れ行きが続いているが、スギ柱材は手当て意欲はあるものの弱保合、中目材は良材が多く柱材より引合いがあり保合。ヒノキ柱材・土台は引き続き高値を維持。ヒノキはまだまだ原木不足と見られる。

群馬県でも原木の出材は順調で集荷は容易。工場土場は一杯の状況。原木価格も下落傾向にある。操業は順調で公共工事と一般物件が重なり、多忙な状況にある。需要は一服しているが、スギの 4m90 角、ヒノキの 4m90 角、4m105 角は品薄、貫板、ラス下等は欠品している。年末の値上がり後、価格を維持していたが、ようやくヒノキ 4m材の 5,000 円の値上げが通り始めた。近隣の小売、工務店では仕事量の偏りが見られる。

### 2. 米材

米加北西部の伐採は平年通り。米国では在庫が順調に積み上がっているが、カナダでは一時の枯渇感は無くなったものの依然在庫の積み上がりは見られず、米加間での温度差が続いている。ウエアハウザー社の 4 月積み対日価格(推定)は 3 ヶ月連続の据え置き of \$1,040。順調な在庫積み上げが据え置き結着の要因であるが、米国製材品価格は 3 月に史上最高値から反落したものの依然史上最高値圏で推移。米国内の製材工場の製材意欲が旺盛な中で、出材増と産地製品価格の高騰で綱引き状態。ランダムレングス紙の 15 種平均価格(3/23)は \$491/M で 2 月頭に比べ 4.2%アップ。第 2・四半期については、ここ最近の米加材価格が最高値を更新(\$500/m<sup>3</sup>以上)しており、入荷のコストアップは避けられない。日本向け契約数量はかなりの落ち込みになっている。

2 月の原木入荷量は 189 千 m<sup>3</sup> と 1 月のある程度まとまった入荷の反動で、一転して低調、出荷量も 178 千 m<sup>3</sup> で低調、在庫は前月より 11 千 m<sup>3</sup> 増の 217 千 m<sup>3</sup> となり、在庫率は 1 ヶ月を上回った。国内の米材製材工場は不需要期であるが、昨年末に欠品を起こした製品の在庫積み増しのため、フル操業が続いている。

3月の東京木材埠頭の米材製材品入荷量は26千 $m^3$ (前月比同水準)、出荷量は26千 $m^3$ (同3.5%増)、在庫量は45千 $m^3$ (同0.9%増)。米加材は入荷の遅れの影響もあり、引き続き引合いは強い状態。

### 3. 南洋材

サバでは天候が回復しており、伐採も活発になりつつあるが、未だ原木在庫は低水準。輸出を優先して国内工場には回っていない。サラワクも天候回復で伐採も上向きだが、厳しい伐採規制で原木在庫は少ない。インドネシアでも伐採は回復基調にあるが、原木不足の状況は変わっていない。ソロモンは中国の買い一辺倒で、日本向け配船は期待できない。4月予想の原木入荷量は9千 $m^3$ 、出荷は15千 $m^3$ で横ばい、在庫は28千 $m^3$ に減少。製材品の販売は2月までは低調であったが、3月からは回復してきた。

### 5. 合板

国産材はスギ、カラマツとも不足気味で、特にカラマツ価格が上昇。ロシア材は米材や国産材の供給が不安定な中、引合いは旺盛で価格も上昇。米材は日本向けの原木不足が続いており、今後も上昇が予想される。南洋材の出材は低調のままで価格も高値張り付きの状態。2月の国内合板生産量25.3万 $m^3$ のうち針葉樹合板は24.3万 $m^3$ 、出荷量は23.8万 $m^3$ となり、昨年2月以来1年ぶりの24万 $m^3$ 割れとなった。在庫量は10.2万 $m^3$ 、うち構造用合板は8.7万 $m^3$ と先月よりも5千 $m^3$ ほど増えているが、依然として低水準の域にある。国産針葉樹合板の4月販売価格は横ばい。3月の12mm20円値上げの浸透も徐々に進んでおり、流通筋では価格のバラツキや安値玉も全体に影響のない程度で収まっている。今後、価格の浸透は更に進み、メーカー主導の展開が続いていく模様。針葉樹合板は9mmの不足感が解消されていない。2月合板輸入量は前月よりも4万 $m^3$ 近く減少。ラワン構造用9mmの不足アイテムも残っているものの全体的には動きが鈍く、余剰アイテムも出てきている。今後一層の注視が必要である。産地のインドネシアでは天候も回復傾向にあるが、原木の供給状況は改善されていない。マレーシアでも状況は変わらず生産量が上がらない中、各シッパーの納期遅れは改善が見えない。国産針葉樹合板は4月以降の荷動きの期待は大きいですが、直近では期待薄といわざるを得ない。輸入合板は荷動き、価格ともに一服状態にあるが、現地状況から、まだまだ強気の展開が続く見通しが強い。

### 6. 構造用集成材

ラミナ入荷は順調。第2・四半期はオファー自体が少なく、集成材メーカーは在庫過多のため契約量も少ない見通し。第2・四半期の交渉は産地側の高値

提示に対し集成材メーカーの抵抗が強い。RW 平角向けラミナは 265～275 ユーロと前回比 5～10 ユーロの値上げ。国内メーカーの受注、RW 梁桁の販売も落ち着いている。RW 柱、WW 柱、間柱の荷動きは鈍い。ラミナ価格高騰によりメーカーRW 全般の値上げを目指しているが、需要低迷のため値上げは難しい模様。輸入集成材は先高を見越して仕入れに動く企業は少数派となった。3月初めに輸入集成材が多く入港したため、問屋やプレカット工場は在庫を多く抱え、国内倉庫も空きが少ない状況。

#### 7. 木材チップ

天候が回復し、チップ原木の入荷は順調。解体材の入荷は例年並みだが、製紙・バイオマス発電共に定期修理に入る工場が多く、使用量は減少傾向。製紙用針葉樹チップの使用量が増加しており、増集荷傾向が継続中である。燃料用チップは製紙・バイオマス発電共に大型の定期修理があり、在庫は削減、使用量は減少。針葉樹原木・チップともに一部で値上げの動きがある。

#### 8. 市売問屋

国産材構造材の入荷は少ないにもかかわらず、スギ、ヒノキとも荷動きが悪くなっている。外材構造材は単価を上げて来ているが、当用買いのため荷動きが良くない。国産材造作材は都内では使用が少ないため動きが悪い。外材造作材も少量しか出ない。小径木の原木不足と原木高で製材所から製品が出てこない。

#### 9. 小売

スギ KD 柱・小割・板割、ヒノキ KD 柱・土台は保合。外材はアカマツタルキ良材は品薄保合、米ツガ角・平割とも品薄で強保合、SPF、米マツ KD は強保合、WW 間柱は保合。造作材ではスプルー平割、ピーラー平割、タモ平割が強保合。集成材は WW 柱・梁、RW 梁・柱ともに保合。針葉樹合板、輸入合板とも強保合。パーティクルボードの品薄は解消されず強保合。新築物件は少なく、リフォーム中心の展開となっている。

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太			
南洋材	丸太	→	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	↗
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↗
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	↗ →
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	
		アカマツ (KD) 16×40上級		
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
		ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗